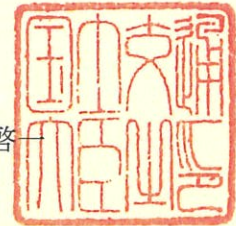


認定書

国住指第 3861 号
平成 31 年 3 月 25 日

株式会社デコス
代表取締役 安成 信次 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PC030BE-2145-1(1)

2. 認定をした構造方法等の名称

セルローズファイバー充てん／建築用仕上塗材塗／アクリル樹脂塗装・パ
ルプ混入セメントけい酸カルシウム板表張／せっこうボード裏張／木製軸
組造外壁

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

セルローズファイバー充てん／建築用仕上塗材塗／アクリル樹脂塗装・パルプ混入セメントけい酸カルシウム板表張／せっこうボード裏張／木製軸組造外壁

2. 仕様の寸法：

仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様	
壁の高さ	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法	
壁の 厚さ	真壁	131mm以上
	大壁	140.5mm以上
柱、間柱間隔	500mm以下	
壁の構造	真壁又は大壁	

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項目	仕様	
	真壁	大壁
柱 (荷重支持部材)	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は構造用集成材 断面寸法：105×105mm以上 欠き込み深さ：15mm以下 欠き込み幅：10～15.5mm	材料：同左 断面寸法：同左 欠き込み：なし
間柱	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は構造用集成材 断面寸法：30×90mm以上	材料：同左 断面寸法：30×105mm以上
外装材	材料：アクリル樹脂塗装／パルプ混入セメントけい酸カルシウム板 組成(質量%)： ポルトランドセメント 37 けい酸質原料(珪石粉、フライアッシュ等) 42 無機質充てん剤(マイカ、ドライウエスト等) 14.5 有機繊維(パルプ) 6 撥水材 0.5 塗装： 表面：アクリル系樹脂 塗布量：130g/m ² (固) 裏面：アクリル系樹脂 塗布量：20g/m ² (固) 形状：平板 厚さ：14(±1.0)mm～18(±1.4)mm 密度：1.10(±0.10)g/cm ³ (絶乾) 寸法：働き幅910mm、長さ3030mm以下 張り方：縦張	材料：同左
仕上材	材料：建築用仕上塗材(JIS A 6909) 種類：薄付け仕上塗材(外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材) 呼び名：外装薄塗材E 結合材：合成樹脂エマルジョン 種類：アクリルシリコン系 塗布量：1.6～6.2kg/m ² (1.33～5.36kg/m ² (固)) 無機質割合：88～88.8質量%	材料：同左
構造用面材	仕様：なし	材料：同左
充てん断熱材	材料：セルローズファイバー(JIS A 9523) 厚さ：90(±9)mm 熱抵抗：2.5m ² ・K/W以上 密度：55(±5.5)kg/m ³	材料：同左
内装材	材料：せっこうボード(JIS A 6901) 厚さ：9.5～15mm	材料：同左

4. 仕様の副構成材料：
仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項目	仕様	
	真壁	大壁
下塗り材	材料：①又は② ①カチオンアクリル樹脂系下塗り材 塗布量：150g/m ² 有機質量固形分：31g/m ² ②なし	材料：同左
胴縁	材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は下地用製材 寸法：12×40mm以上 取付間隔：500mm以下	材料：同左
防水紙	材料：透湿防水シート(JIS A 6111) 材質：1)、2)又は3) 1)ポリエチレン 2)ポリエステル 3)ポリプロピレン 単位面積質量：400g/m ² 以下 厚さ：0.2mm以下	材料：同左
気密材	材料：①又は② ①気密フィルム 単位面積質量：200g/m ² 以下 厚さ：0.2mm以下 種類：1)、2)又は3) 1)住宅用プラスチック系防湿フィルム(JIS A 6930) 材質：ポリエチレン 2)包装用ポリエチレンフィルム(JIS Z 1702) 3)農業用ポリエチレンフィルム(JIS K 6781) ②なし	材料：同左
吹込みシート	材料：ポリエステル長繊維不織布 単位面積質量：100g/m ² 以下 厚さ：0.2mm以下	材料：同左
受材	柱部： 材料：①又は② ①なし(柱に内装材固定用の欠き込みを設ける場合) ②日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は下地用製材 寸法：30×40mm以上	柱部： 材料：なし
	桁・土台部： 材料：日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材又は下地用製材 寸法：30×40mm以上	桁・土台部： 材料：なし
内装材用目地処理材	材料：せっこうボード用目地処理材(JIS A 6914) 塗布量：100g/m以上	材料：同左

気密テープ	材料：①又は② ①ブチルゴム系テープ(質量：26g/m以下) ②アクリル系テープ(質量：9g/m以下) 厚さ：0.5(+0.05)mm以下 幅：50mm以下	材料：同左
留付材	外装材固定用： 材料：①、②又は③ ①リングくぎ 寸法：胴部径φ2.3×40mm以上 ②スクリューくぎ 寸法：胴部径φ2.4×40mm以上 ①、②の材質：1)～4)の一 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)軟鋼線材(JIS G 3505) 3)鉄線(JIS G 3532) 4)硬鋼線材(JIS G 3506) ③ビス 材質：1)～4)の一 1)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 2)軟鋼線材(JIS G 3505) 3)冷間圧造用炭素鋼線(JIS G 3507-2) 4)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 寸法：呼び径φ3.0×30mm以上 留付間隔：水平方向227.5mm以下、鉛直方向500mm以下	材料：同左
	胴縁固定用： 材料：①、②又は③ ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N45以上 ②太め鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：CN45以上 ③ビス 材質：1)～4)の一 1)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 2)軟鋼線材(JIS G 3505) 3)冷間圧造用炭素鋼線(JIS G 3507-2) 4)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 寸法：呼び径φ3.3×45mm以上 留付間隔：500mm以下	材料：同左
	受材(柱部)固定用(柱に内装材固定用の欠き込みを設けない場合)： 材料：鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N75以上 留付間隔：300mm以下	材料：なし
	受材(土台・桁部)固定用： 材料：鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N75以上 留付間隔：300mm以下	材料：なし

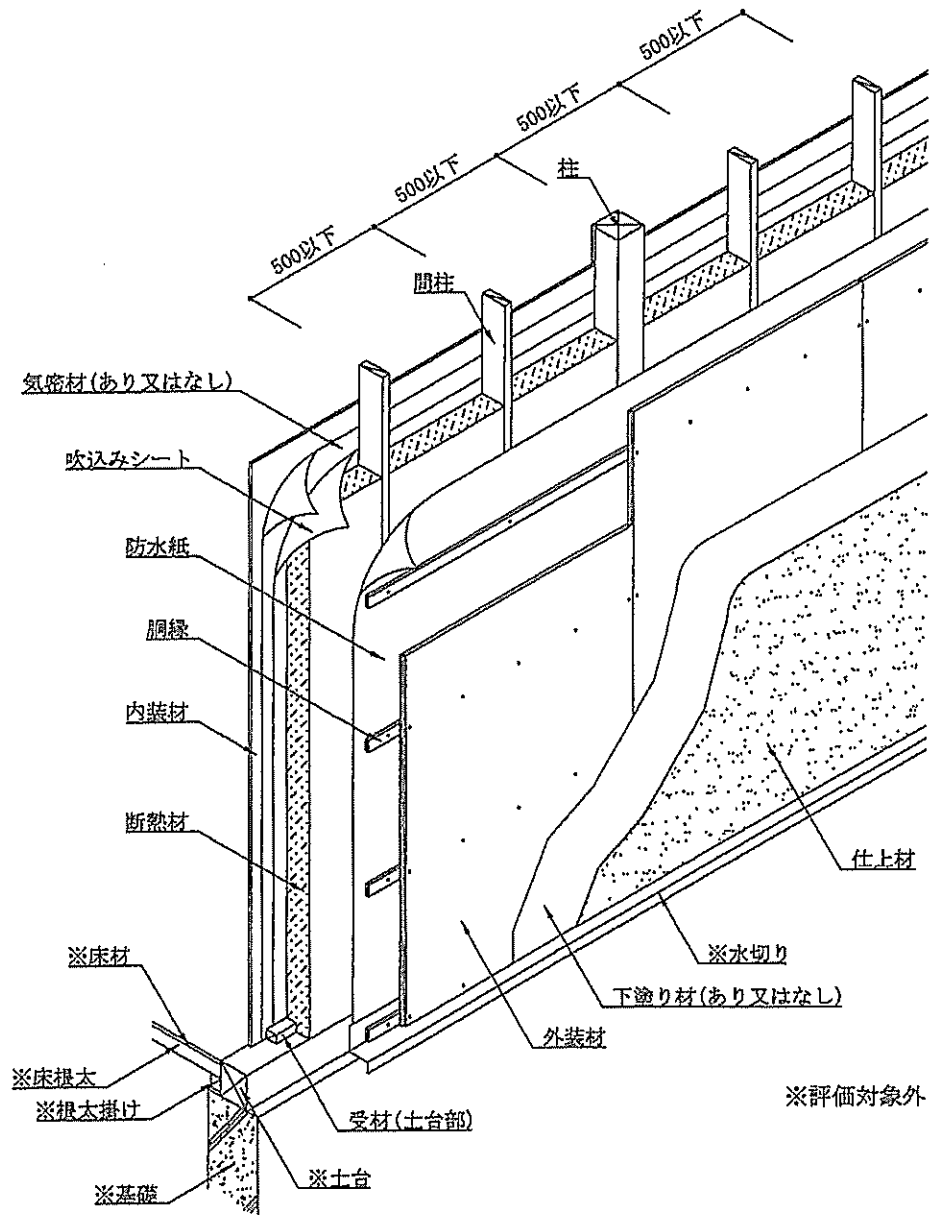
つづく

つづき

<p>留付材</p>	<p>内装材固定用： 材料：①、②又は③ ①せっこうボード用くぎ(JIS A 5508) 寸法：GN40以上 ②十字穴付き木ねじ(JISB1112) 寸法：呼び径φ3.5×長さ32mm以上 ③タッピンねじ 材質：1)～4)の一 1)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 2)軟鋼線材(JIS G 3505) 3)冷間圧造用炭素鋼線(JIS G 3507-2) 4)機械構造用炭素鋼鋼材(JIS G 4051) 寸法：呼び径φ3.0×30mm以上 留付間隔：周辺部150mm以下、中間部200mm以下</p>	<p>材料：同左</p>
	<p>防水紙固定用： 材料：ステーブル 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：肩幅10mm以上、足長10mm以上 留付間隔：水平方向500mm以下、鉛直方向500mm以下</p>	<p>材料：同左</p>
	<p>吹込みシート固定用： 材料：ステーブル 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：肩幅10mm以上、足長8mm以上 留付間隔：鉛直方向50mm以下</p>	<p>材料：同左</p>
	<p>気密材固定用(気密材を使用する場合)： 材料：ステーブル 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：肩幅10mm以上、足長10mm以上 留付間隔：水平方向500mm以下、鉛直方向500mm以下</p>	<p>材料：同左</p>

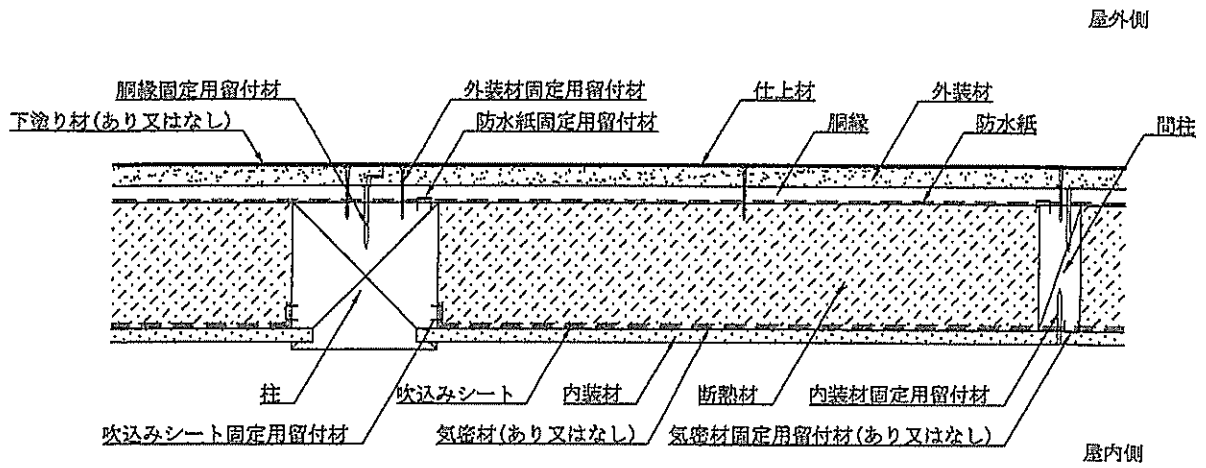
5. 仕様の構造説明図

仕様の構造説明図を図1～図6に示す。

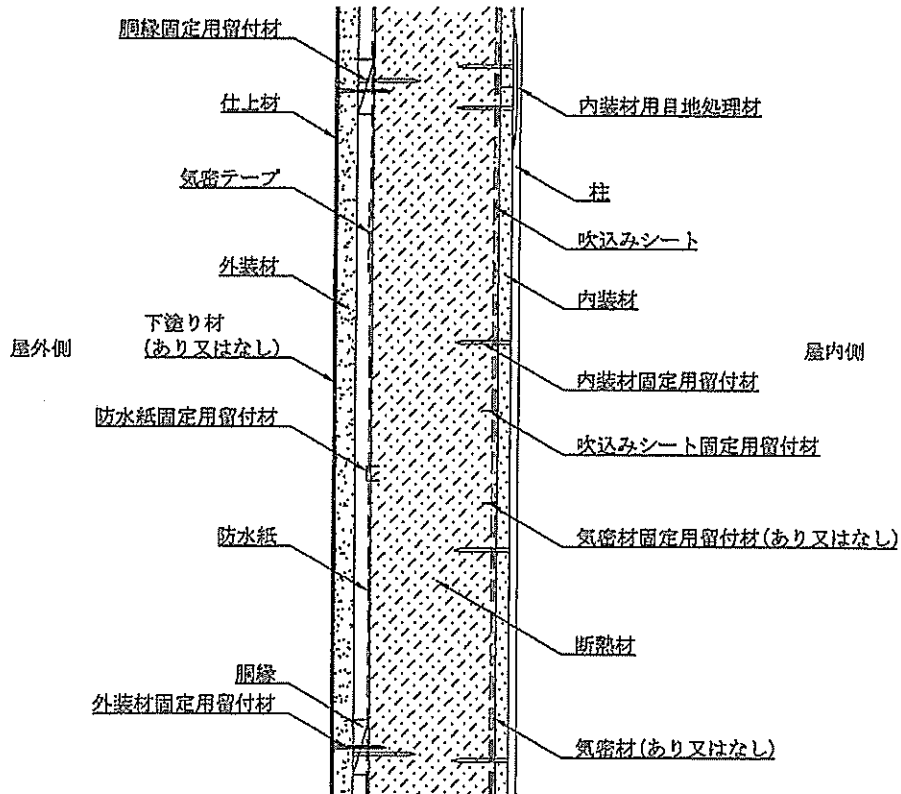


透視図 (欠き込み真壁造・構造用面材なし仕様)

図1 構造説明図

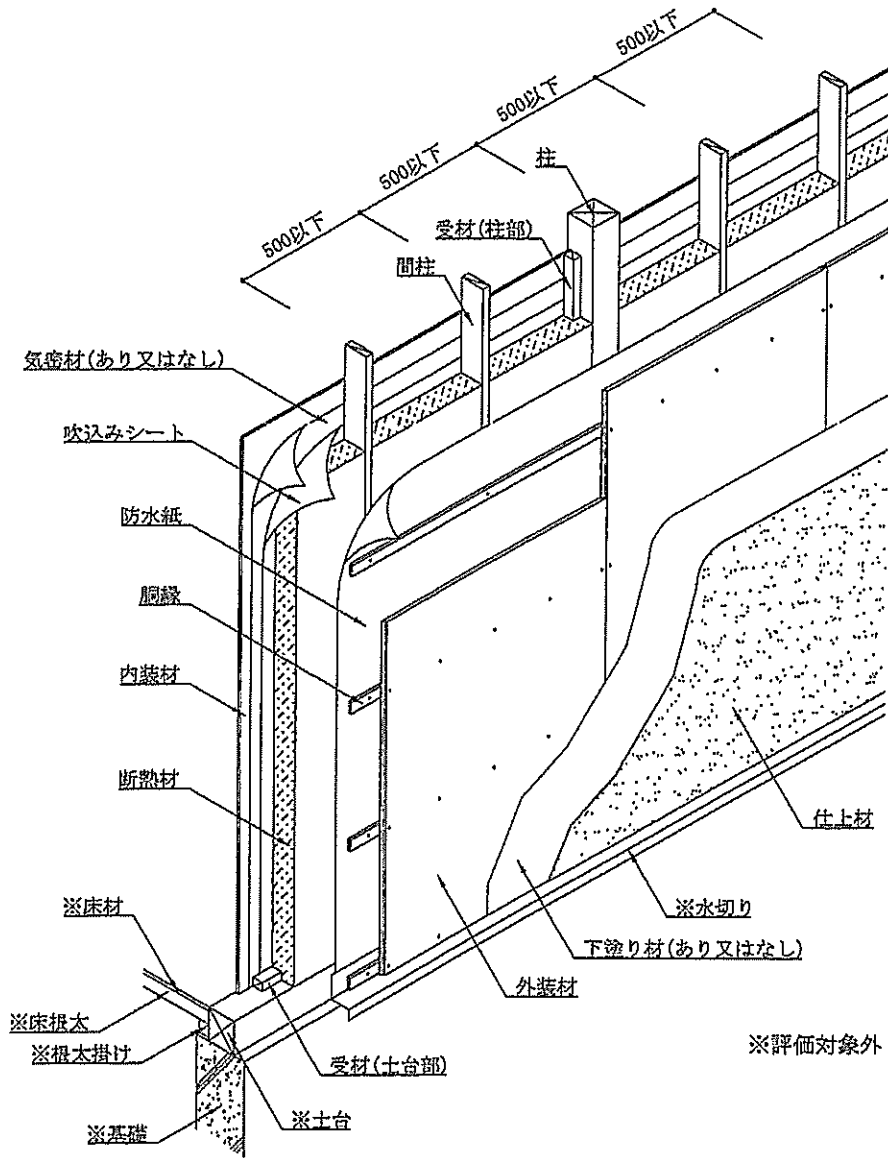


水平断面図 (欠き込み真壁造・構造用面材なし仕様)



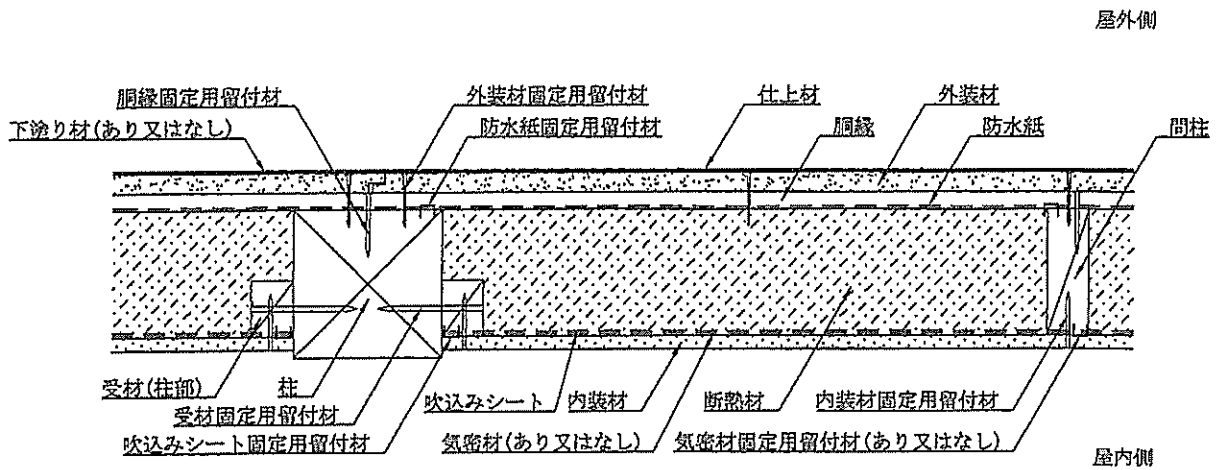
鉛直断面図 (欠き込み真壁造・構造用面材なし仕様)

図2 構造説明図

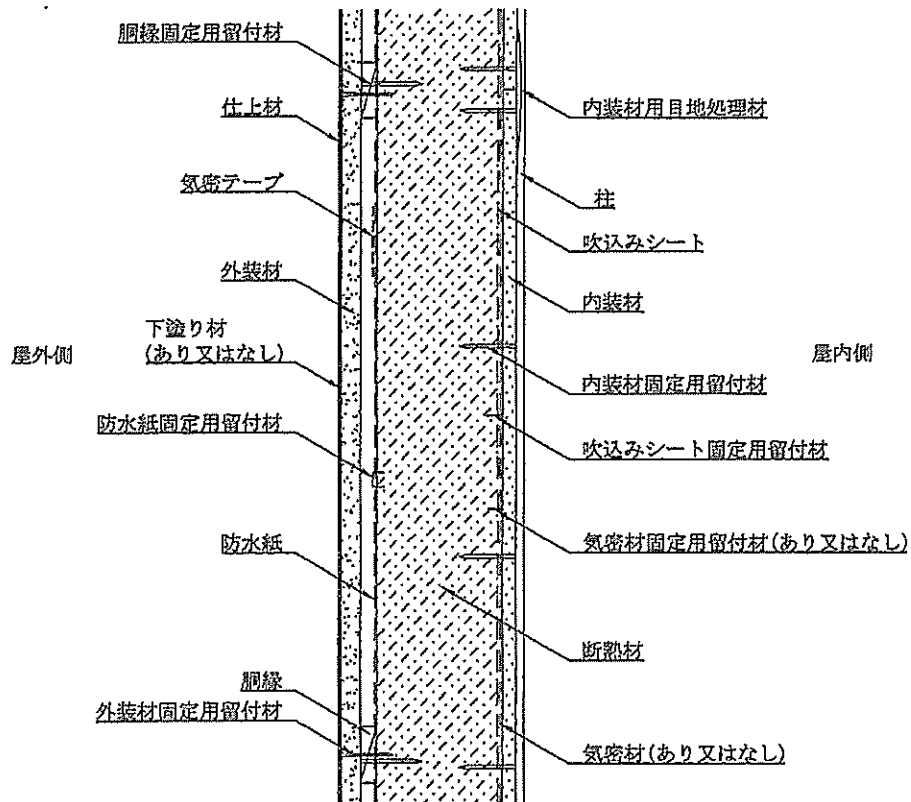


透視図 (受材真壁造・構造用面材なし仕様)

図3 構造説明図

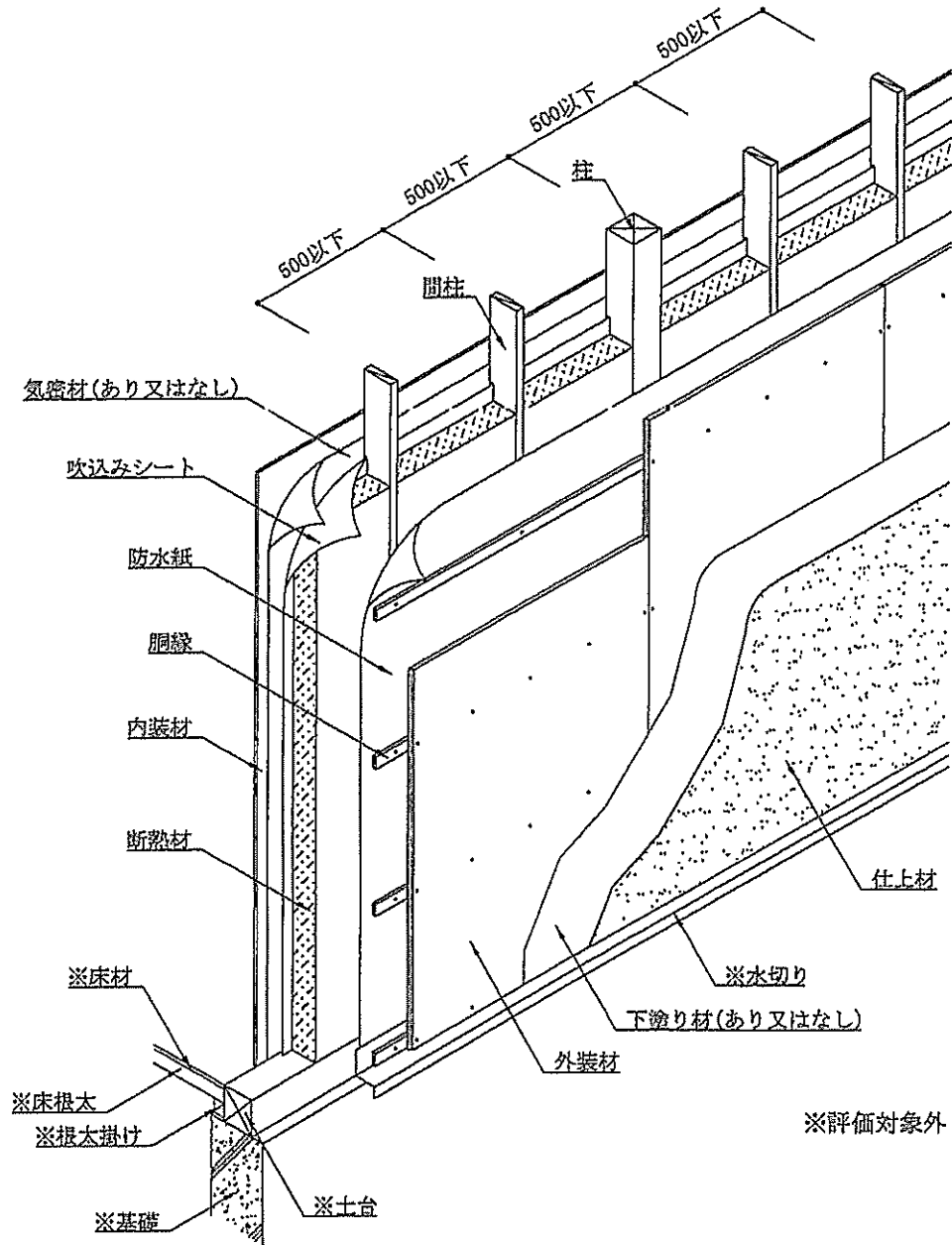


水平断面図 (受材真壁造・構造用面材なし仕様)



鉛直断面図 (受材真壁造・構造用面材なし仕様)

図4 構造説明図



透視図 (大壁造・構造用面材なし仕様)

図5 構造説明図

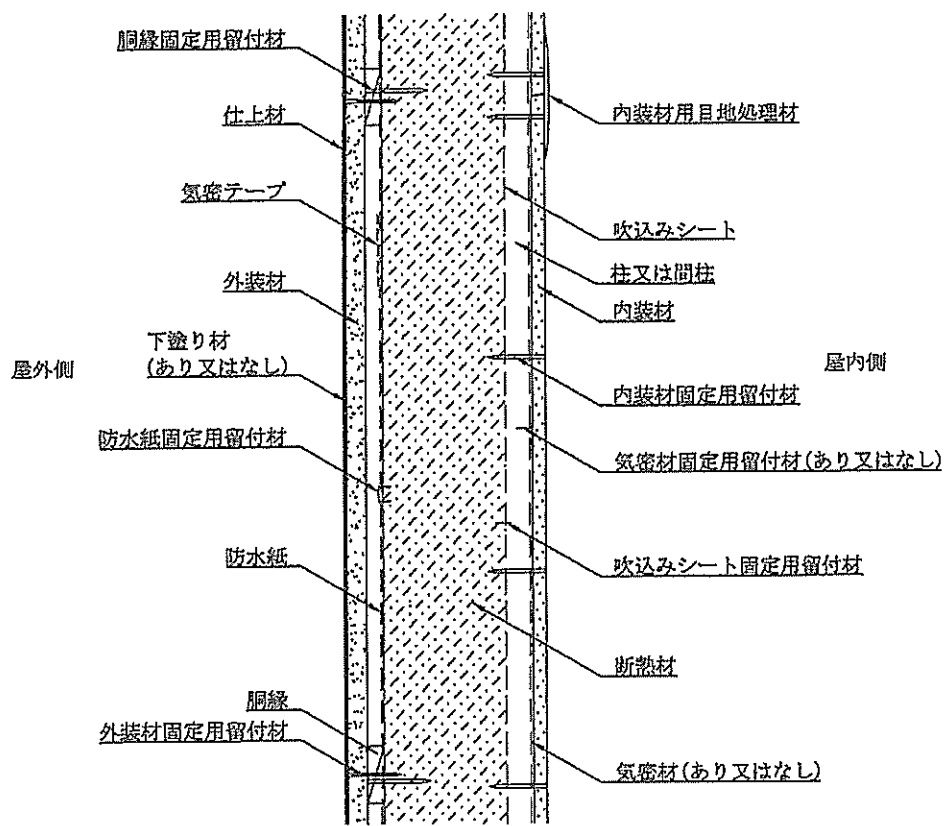
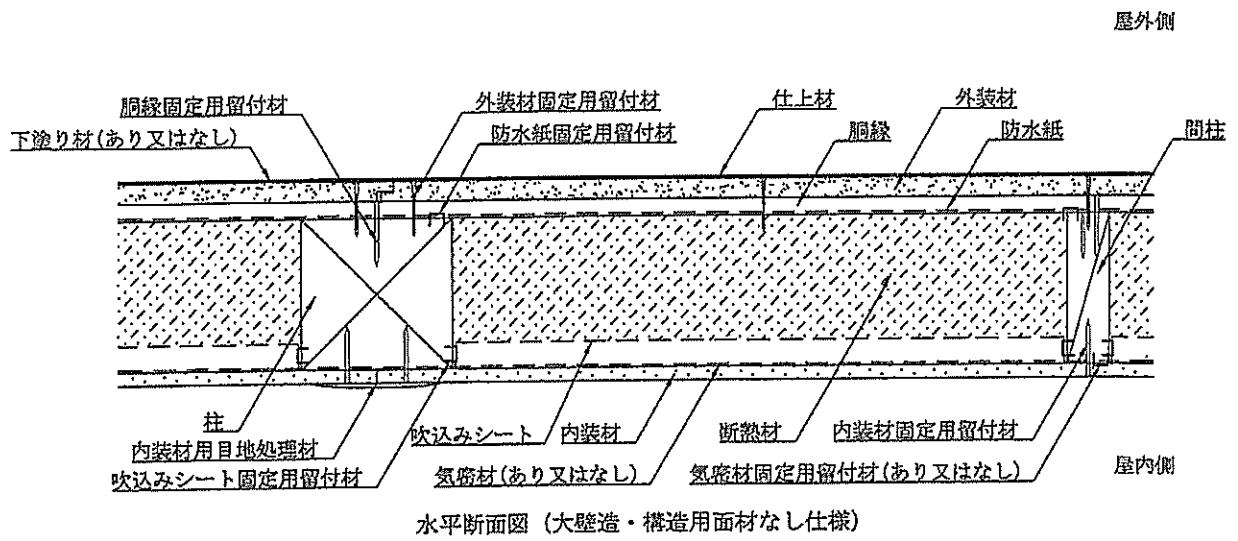


図6 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図7～図9に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 躯体構造の施工状態確認

- ・柱、間柱の間隔(500mm以下)を確認する。

(2) 受材(真壁：柱部、土台・桁部を取付ける場合)

- ・柱に内装材固定用の欠き込みを設けない場合は、受材(柱部)を、受材(柱部)固定用留付材を用いて柱に300mm以下の間隔で取付ける。
- ・受材(土台・桁部)は、受材(土台・桁部)固定用留付材を用いて、土台等に300mm以下の間隔で取付ける。

(3) 防水紙の張付け

- ・防水紙は、横張又は縦張とし、重ね代は縦90mm以上、横90mm以上とする。
- ・防水紙固定用留付材を用いて、できるだけたるみ、しわのないように留付ける。
- ・防水紙目地部及び防水紙が土台、桁部にあたる部分には気密テープを貼り、断熱材を吹込む際にこぼれないようにする。

(4) 胴縁の取付け

- ・胴縁は、胴縁固定用留付材を用いて、柱、間柱に500mm以下の間隔で取付ける。
- ・胴縁は、柱、間柱と直交するように横方向に配置する。

(5) 外装材の取付け

- ・外装材の張方は、縦張とする。
- ・外装材は外装材固定用留付材を用いて、胴縁に227.5mm以下の間隔で取付ける。
- ・外装材と土台などに用いる水切り等(評価対象外)の取合いは10mm程度の隙間をあける。
- ・外装材の縦目地は合いじゃくり目地とし、外装材の重ね代及び隙間は指定寸法を確保し、上実・下実のいずれかの端部は相互に密着させるように張付ける。

(6) 下塗り材の施工

- ・下塗り材は刷毛、ローラー等を用いて外装材に均一に塗り付けする。
- ・下塗り後、30分以上の養生期間をとる。

(7) 仕上材の施工

- ・仕上材はスプレーガン、ローラー、コテを用いて外装材に均一に塗り付けする。
- ・仕上材を厚く塗り付けする場合は、基層塗り、模様塗りの2回に分けて塗り付けする。
- ・塗り付け後、24時間以上の養生期間をとる。

(8) 吹込みシートの張付け

- ・吹込みシートの張付け位置は裏張(屋内側)とする。
- ・吹込みシートは横張又は縦張とし、上下・左右の重ね代を100mm以上とする。
- ・吹込みシート固定用留付材を用いて、できるだけたるみ、しわのないように留付ける。

(9) 断熱材の充てん

- ・専用の施工機で、壁枠内に隙間なく吹込む。

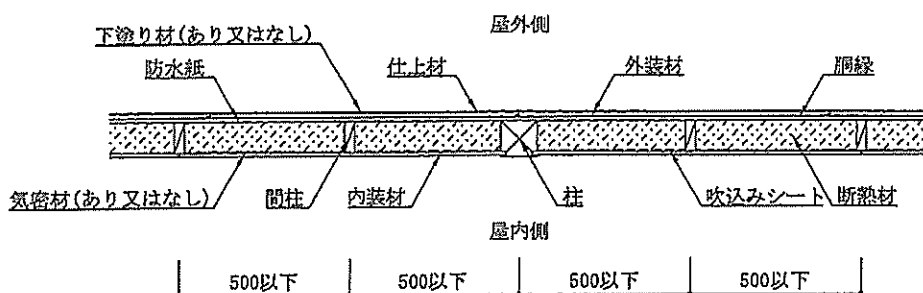
(10) 気密材を張付ける場合

- ・気密材の張付け位置は裏張(屋内側)とする。
- ・気密材は横張又は縦張とし、上下・左右の重ね代を100mm以上とする。
- ・気密材固定用留付材を用いて、できるだけたるみ、しわのないように留付ける。

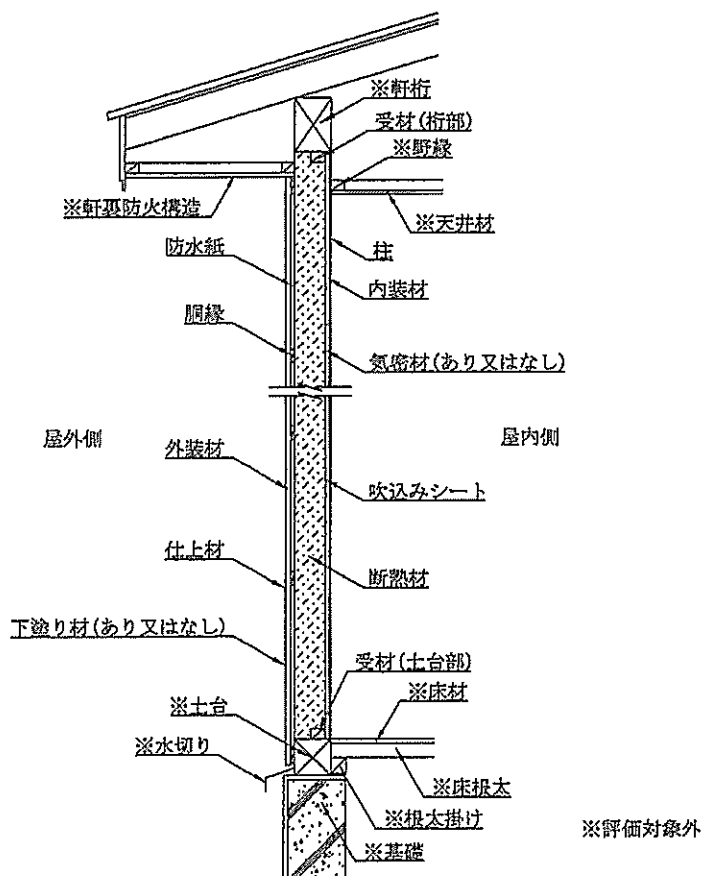
(11) 内装材の取付け

- ・内装材は、内装材固定用留付材を用いて柱、間柱及び受材等に取付ける。
- ・目地部には内装材用目地処理材を施し、平滑に仕上げる。
- ・真壁造の柱の欠き込み仕様の場合は柱の欠き込み部に内装材をはめ込む。

単位mm

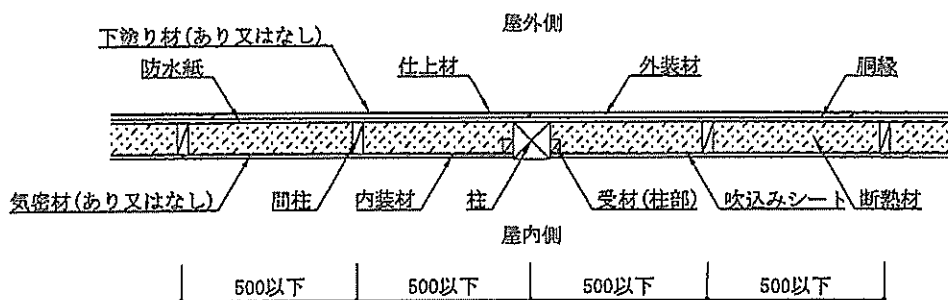


水平断面図 (欠き込み真壁造・構造用面材なし仕様)

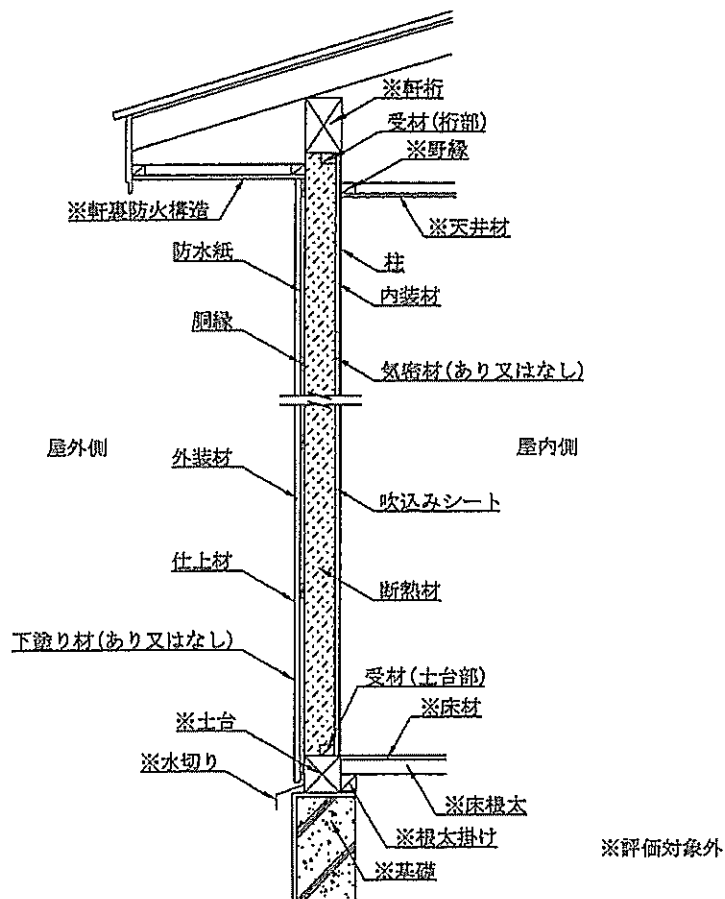


鉛直断面図 (欠き込み真壁造・構造用面材なし仕様)

図7 施工図



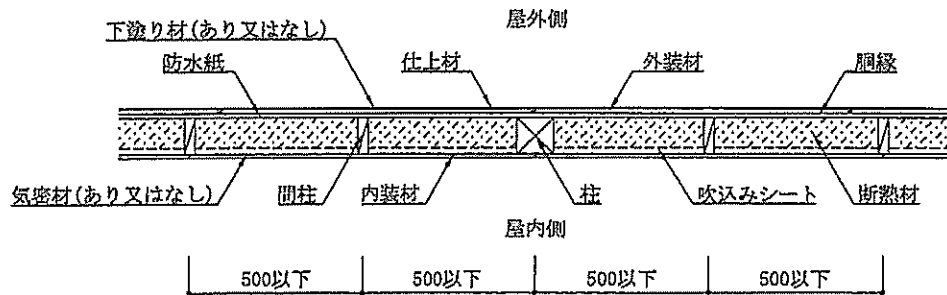
水平断面図 (受材真壁造・構造用面材なし仕様)



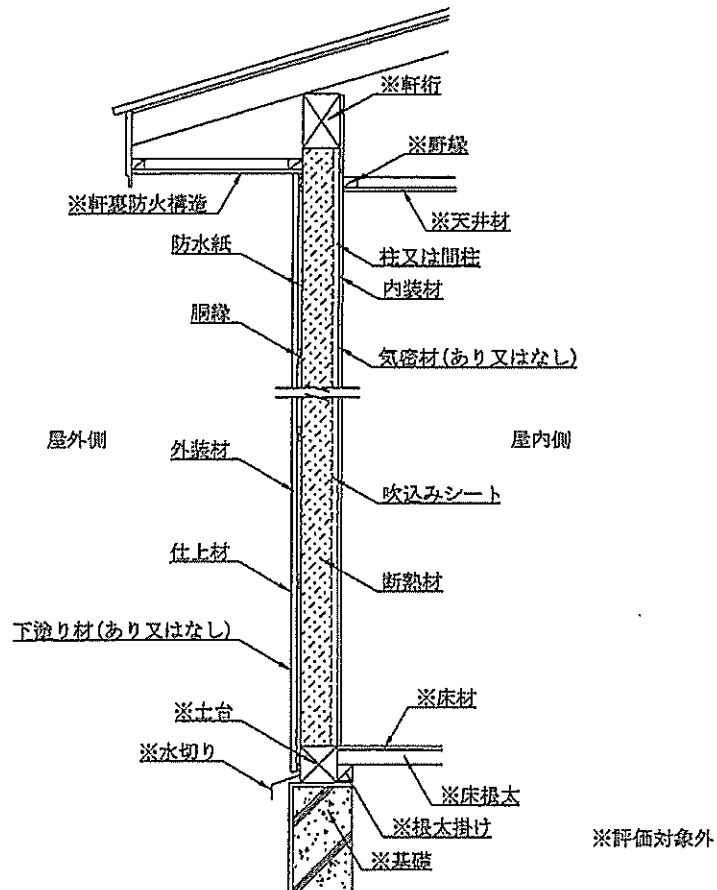
鉛直断面図 (受材真壁造・構造用面材なし仕様)

図8 施工図

単位mm



水平断面図 (大壁造・構造用面材なし仕様)



鉛直断面図 (大壁造・構造用面材なし仕様)

図9 施工図